

業務部速報

発信者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴ヶ岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2018年 5月 25日

申 22 号「2018 年度新幹線総合車両センター業務改善に関する」団交①

2018年5月17日13時30分から申22号「2018年度新幹線総合車両センター業務改善に関する」申し入れ（2018年4月18日申入）団体交渉（15時30分まで）を行いました。主な議論は以下の通りです。詳細など不明な点ございましたら、地本業務部まで連絡を下さい。

(1 項) 新幹線の安全・品質をグループ会社と一体となって確保していくために、新幹線総合車両センターの今後5年間の中期計画を示し、技術継承が行える体制・要員を確保すること。

(回答) 新幹線総合車両センターは、これからも新幹線の拠点としての役割を果たさなければならない。これまでも業務改善など効率化、交番検査周期見直しを行ってきたが、今後は全般検査・台車検査周期見直し、業務体制の見直し等を行っていくことになる。また、今後もグループ会社と一体となったメンテナンス体制の構築などを中心に進めていく考えである。

【主な議論】・実行計画等で将来的なものを示しているところであり。業務量が大きく変化するという事ではない。現在、新幹線はCBMについては一部進めているが、対応可能な機能はあまり多くないため、ALFA-Xから考えていくようになっていく事となる。

・世代交代が進むなか、職場では技術継承・技能伝承のために励んでいるが、中期的配属の考えを明らかにし、モチベーションの高揚や意識付けを行うことを求め議論しました。

(2 項) メンテナンスブラッシュアップについては、現場社員の意見を反映させるとともに、グループ会社と一体となって進めること。また、「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある職場となるように、グループ会社の労働環境改善や3K作業の削減・改善についても十分に検討すること。

(回答) メンテナンスブラッシュアップは、検修方法の方向性を検討しているところであり、現場社員の意見を聞きながら、グループ会社と一体となったメンテナンス体制の構築も考慮していく考えである。

【主な議論】・計画が固まってしまうと意見を取り入れられなくなるので、グループ会社の現場の声も含め、タイミングをみて意見を聴いていく事に向けて議論しました。

(3 項) 新幹線総合車両センターの将来構想を踏まえ、想定する必要な要員数と現実との乖離が生じないように、計画的に新規採用者を配属すること。また、退職者数と新規採用者数の乖離を最小限に抑えるために、エルダー本体雇用を最大限活用すること。尚、エルダー本体雇用については、本人希望を最大限尊重し、対象者の持つ知識・技術の必要性や、職場実態を把握している現場社員の意見を反映し、誰もが納得いく人選となるように努めること。

(回答) 引き続きグループ会社と一体となった車両メンテナンス体制を構築していく。また、必要な要員は確保していく考えである。

【主な議論】・今後とも、この間と同程度の新入社員の配属とエルダー本体勤務の活用を求めて、議論しました。

(4 項) 東京オリンピックの開催や大規模ショッピング施設の開業に備え、新幹線総合車両センターの警備体制を強化すること。また、SCSP社員に対して、定期的な教育・訓練を実施すること。

(回答) 警備体制については、現行通りの取り扱いとなる。

【主な議論】・警備体制の強化を求め議論しましたが、回答通り現行通りの取り扱いとなる議論となりました。